

超速硬性無収縮モルタル

NEWフィルコンM

超速硬性無収縮モルタル NEWフィルコンMの特長

- ▶ 短時間で実用強度が得られる超速硬性の無収縮モルタルです。
- ▶ 流動性に優れ、狭い所にも行きわたり、確実に充填させることができます。
- ▶ プリーディングが全く発生しないため、充填後の空隙を残す心配がありません。

NEWフィルコンMの 施工要領概要

前準備

- ▶ 混練水：酸・油・有機不純物等を含まない清水。
- ▶ 混練機：ハンドミキサーは高速回転型をご用意ください。手練りによる混練はできませんのでご注意ください。
アルミ製の羽根、容器は決して使用しないでください。
- ▶ その他：必要に応じ計量器・バケツ・コテ等。
- ▶ 清掃：打設箇所表面のレタンス・油分・塵芥等を除去してください。

施工

- ▶ 混練：混練は右図に従い、充分な攪拌を行ってください。
- ▶ 注入：連続的に行います。また、パイプレータ等による振動締固めは不適切です。
- ▶ 仕上げ：一般的には木ゴテ・金ゴテ仕上げを行います。
- ▶ 養生：NEWフィルコンMの硬化過程では、急激な水和反応により著しい発熱が生じます。打設直後から固まるまでの間は、薄いビニールを表面に密着させて養生すると、初期の表面ひび割れ防止に有効です。硬化体が常温に戻った後に散水養生等を行うことは耐久性向上に対して有効です。

保管

- ▶ 開封後：開封後は密封して保管できますが、袋単位で使い切るようにしてください。
- ▶ 積置き：屋内保管を原則とし、降雨・湿気等からなるべく遮断してください。



本製品は砂調合済みのプレミックス品です。水を加えて練り混ぜるだけで所定の性能が得られます。

荷姿は製造の都合等により予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

配合例

配合	水材料比 (%)	単位量 (kg)		練上り量 (ℓ)
		NEWフィルコンM	水	
示方	18.0	1875(75袋)	338	1000
袋		25(1袋)	4.5	約13.5

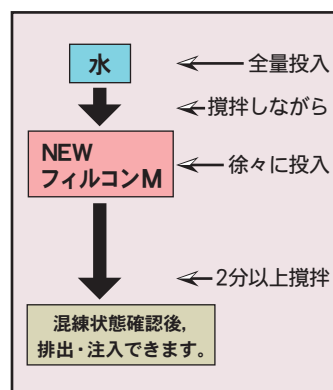
- 注1) 気温等により水量は多少変動(4.1~4.8kg/袋程度)します。使用前には必要に応じて試験練りを行い、水量・流動性・強度等を確認してください。
- 注2) 可使時間は10~20分程度に調整されていますが、現場の施工条件によって変動することもありますので必ず事前に試し練りを行って確認してください。
- 注3) 混練後、直ちに施工箇所に打設できないなどの理由で可使時間を確保する必要がある場合は、凝結遅延剤(ジェットセッター)を適量添加してください。
- 注4) 大面積や厚み確保の難しい箇所では、施工後の荷重等によりひび割れを生じる可能性があります。詳細は弊社までお問い合わせください。

NEWフィルコンMのタイプ

NEWフィルコンMは通年安定した性能を発揮させるため、気温に応じた2タイプをご用意しております。施工時期・施工条件等をご検討のうえ、適切なタイプを選択してください。

タイプ	適用	選定基準
標準	標準期・暑中期	練上温度15~35℃
冬	寒中期	練上温度5~15℃

混練手順



混練状況



NEWフィルコンMの性能一例

流動性

- 試験 : J14ロート
- 管理値 : 練上り直後において 8 ± 2 秒
- 測定値 : 右グラフを参照 →

ブリーディング

- 管理値 : 練上り2時間後において2%以下
- 測定値 : 練上り2時間後およびこれ以降もブリーディングは発生しません。

膨張収縮

- 管理値 : 材齢7日で収縮を示してはならない。
- 測定値 : 材齢7日において $+0.05 \sim 0.2\%$ の膨張側にあり、収縮は認められない。

圧縮強度

- 管理値 : 材齢1時間で 10N/mm^2 以上
材齢28日で 45N/mm^2 以上
- 測定値 : 右グラフを参照 →

付着強度

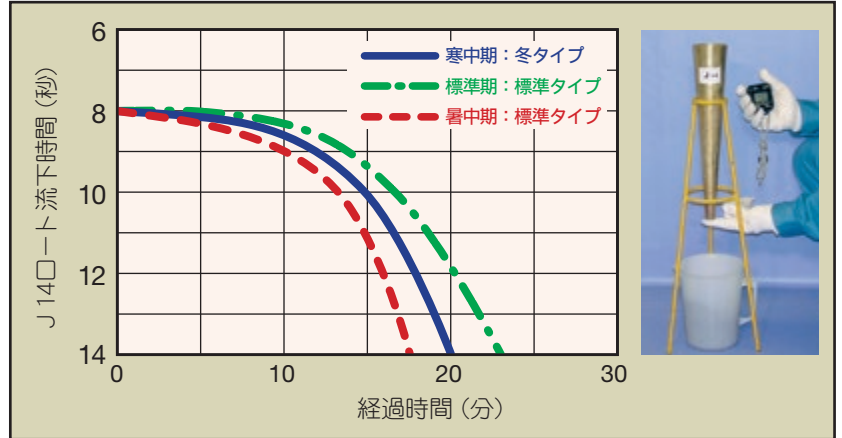
- 試験 : 普通丸鋼 $\phi 19$ の引き抜き試験
- 管理値 : 材齢28日で 3N/mm^2 以上
- 測定値 : 4.0N/mm^2 程度

※物性値の詳細については、当社試験成績表等をご参照ください。

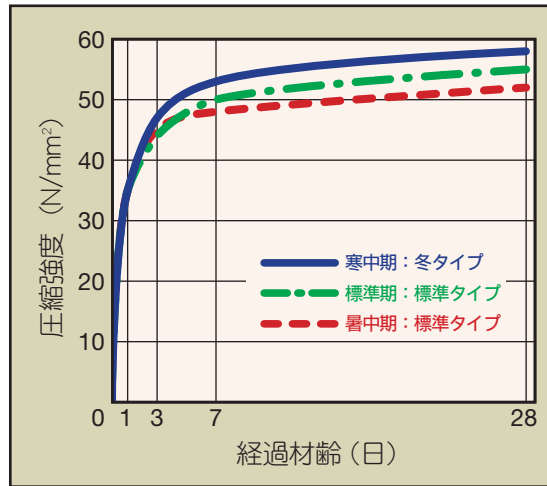
取り扱い上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流してください。

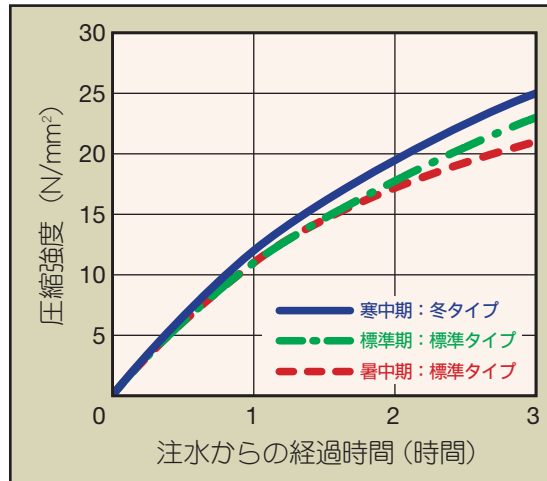
流動性の測定例



圧縮強度の測定例



材齢3時間以内の圧縮強度発現



使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

- | | | |
|-------|-----------|--------------------------------|
| 東京 | 〒102-8465 | 東京都千代田区六番町6番地28 |
| 大阪 | 〒530-0004 | 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F) |
| 札幌支店 | 〒060-0003 | 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F) |
| 東北支店 | 〒980-6003 | 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30 3F) |
| 北陸支店 | 〒920-0849 | 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F) |
| 名古屋支店 | 〒450-0003 | 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F) |
| 四国支店 | 〒760-0033 | 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F) |
| 広島支店 | 〒732-0827 | 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F) |
| 福岡支店 | 〒812-0011 | 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F) |

- | | | | |
|----|--------------|-----|--------------|
| 電話 | 03(5211)4752 | Fax | 03(3221)5624 |
| 電話 | 06(6342)7704 | Fax | 06(6342)7708 |
| 電話 | 011(241)3901 | Fax | 011(221)1017 |
| 電話 | 022(225)5251 | Fax | 022(266)2516 |
| 電話 | 076(223)1505 | Fax | 076(223)0193 |
| 電話 | 052(566)3202 | Fax | 052(566)3273 |
| 電話 | 087(851)6330 | Fax | 087(822)6870 |
| 電話 | 082(577)7645 | Fax | 082(577)7646 |
| 電話 | 092(481)0186 | Fax | 092(471)0530 |

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は